

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

越前町立越前中学校

今年4月19日に3年生を対象に、「令和4年度全国学力・学習状況調査」を実施しました。その結果について、本校の概要をお知らせします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎないことをご理解ください。

## 【学力調査結果について】

### 【国語】

＜良好な点＞

- （１）既習の漢字を正しく書くこと。
- （２）目的に応じて助動詞を適切に使うこと。

＜課題となる点＞

- （１）自分の考えを記述すること。
- （２）行書の特徴やそれに調和した仮名の使い方について理解すること。
- （３）聞き手、読み手に良く伝わるように表現を工夫すること。

＜改善に向けて＞

- ・自分の考えを記述し、伝え合い、自分の文を推敲する機会を各単元の中に設ける。
- ・書写の授業の中で行書の特徴について理解し、行書らしい字を意識して書かせる。

### 【数学】

＜課題となる点＞

- （１）目的に応じ式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること
- （２）筋道立てて考え、事柄が成り立つ理由を考えること。

＜改善に向けて＞

- ・文字を使って説明する部分に課題が見られるので、具体的な数値でイメージを持たせ、それを文字で一般化する良さを実感させる。
- ・筋道立てて考え、説明する部分に課題が見られるので、問題を解く際にどのような道筋で問題を解いていくと良いのかを確認し、見通しを持たせて問題解決する授業を増やしていく。

### 【理科】

＜良好な点＞

化学変化に関する実験において、実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみること。

＜課題となる点＞

力の働きに関する実験において、考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみること。

＜改善に向けて＞

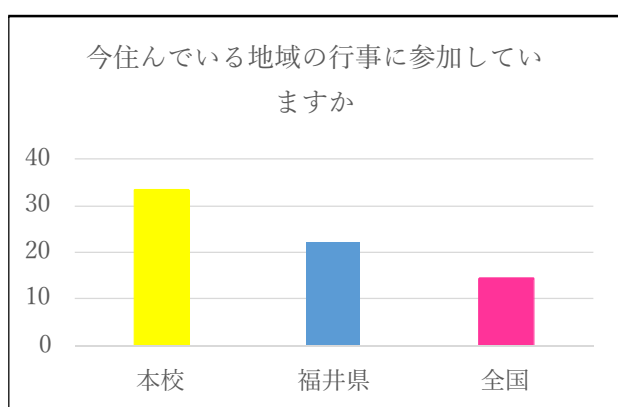
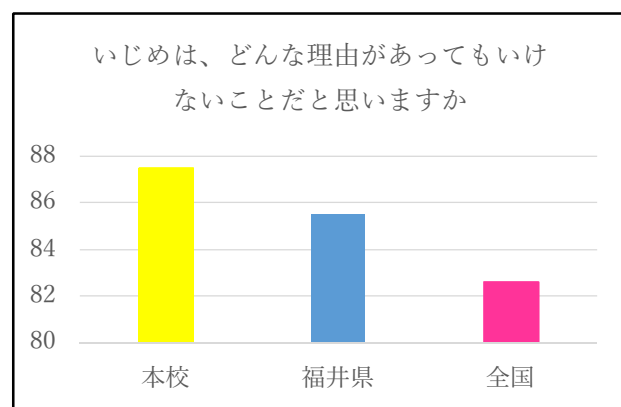
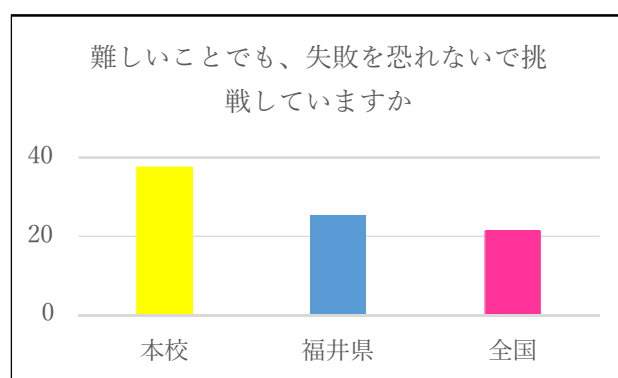
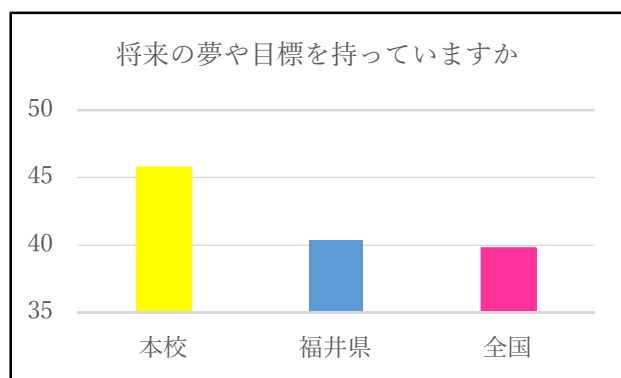
- ・実験計画の段階で、目的を明確にし、データが示す事柄について理解する。
- ・実験結果について、測定する間隔や範囲など、視点を明確にして、データ処理を行う。
- ・表からグラフに表す経験や、グループでの考察時間を確保する。

などの学習活動を充実させる。

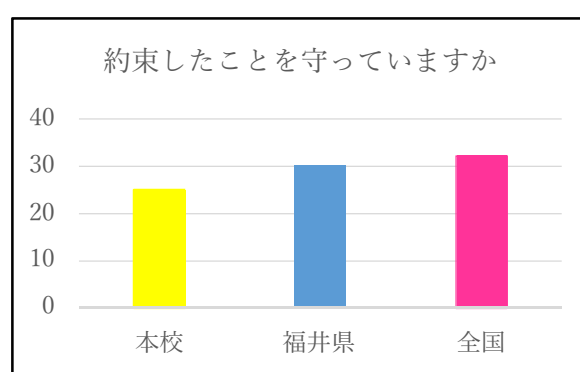
## 【学習状況調査結果について】

学習状況調査では、生活習慣や、規範意識、家庭学習、自尊感情、学習に関する意識などに関する質問がありました。これらの多くの質問事項に対し、どれも福井県や全国平均と同等、もしくは下回る結果となりました。

そのうち、福井県や全国平均を上回った質問事項を取り上げます。①将来の夢や目標を持っていますか。②難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。③いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。④今住んでいる地域の行事に参加していますか。の質問事項については、良好な回答をする生徒が多かったです。



『携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか』という項目については、県および全国と比較して、やや下回っております。平日1日の使用時間についても、2時間以上と答えた生徒は約7割、3時間以上だと約4割となり、長時間使用している生徒が多いことが分かります。越前中学校には、スマートマナーがありますので、ご家庭でもお子様とメディアの使い方について改めて話し合いを行っていただきますよう、お願い致します。



## 【保護者の皆様へ】

生徒たちは、授業に落ち着いて取り組んでいます。このような毎日の積み重ねがこれからにつながっていくと信じております。

今後も、生徒がより良い中学校生活が送れるよう全力で指導してまいります。ご家庭でも、学習習慣の定着や、規範意識の向上につながるようなお声掛けをよろしくお願いします。